2026年11月6日

各 位

会 社 名　株 式 会 社 は せ が わ
代表者の役職氏名　代 表 取 締 役 社 長　新貝 三四郎
（コード番号 ８２３０ 東証スタンダード・福証）
問合せ先　執行役員 企画総務部長　佐藤 城司
Ｔ Ｅ Ｌ ０５７０－０１－７６７６

# 2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2026年５月14日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じましたので、お知らせいたします。

また、あわせて通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．連結業績予想と実績値との差異について

（１）2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

（単位：百万円、百万円未満切捨て）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する中間純利益 | １株当たり中間純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前回発表予想（A） | 11,900 | 570 | 540 | 320 | 17円59銭 |
| 実績値（B） | 10,640 | 34 | △14 | 222 | 12円23銭 |
| 差異（B－A） | △1,260 | △536 | △554 | △98 | - |
| 差異率（%） | △10.6 | △94.0 | - | △30.6 | - |
| (参考)前期実績(2026年３月期中間期) | 11,045 | 303 | 283 | 135 | 7円47銭 |

（２）2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異理由

売上高につきましては、主力事業である仏壇仏具事業および遺骨供養事業において、消費者の生活様式や供養に対する価値観の変化に伴う簡素化･低価格化が当社の当初想定を上回るスピードで進行していること、並びに来店客数の減少等の影響を受け、当初計画を下回る10,640百万円（前回発表予想比10.6%減）となりました。

利益面におきましては、売上高が計画を下回ったこと売上総利益の減少等により、営業利益は34百万円（同94.0%減）、経常損失は14百万円（前回発表予想540百万円の営業利益）となりました。

一方、親会社株主に帰属する中間純利益におきましては、投資有価証券売却益405百万円を特別利益として計上したことなどにより、222百万円（同30.6%減）となりました。

２．連結業績予想の修正について

（１）2027 年３月期通期連結業績予想数値の修正（2026 年４月１日～2027 年３月 31 日）

（単位：百万円、百万円未満切捨て）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| 前回発表予想（A） | 23,000 | 1,000 | 950 | 560 | 30 円 78 銭 |
| 今回修正予想（B） | 21,200 | 300 | 250 | 320 | 17 円 59 銭 |
| 増減額（B－A） | △1,800 | △700 | △700 | △240 | - |
| 増減率（%） | △7.8 | △70.0 | △73.7 | △42.9 | - |
| （参考）前期実績（2026 年３月期通期） | 21,122 | 772 | 697 | 291 | 16 円 02 銭 |

（２）通期の連結業績予想の修正理由

下半期におきましては、簡素化・低価格化をはじめとする多様な供養ニーズに対応すべく幅広い価格帯の商品ラインナップを拡充し、成約率の改善及び販売件数の増加を図るとともに、効果的な販売促進策の展開により売上高を確保し、併せて、全社的な販管費の抑制及び店舗運営体制の効率化にも努めてまいります。しかしながら、上半期において業績が計画を大幅に下回った影響を補うことは困難であると判断し、通期の業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

なお、今回の通期業績予想には、年金資産の運用状況に伴う退職給付会計における数理計算上の差異等の影響は織り込んでおりません。また、現時点において配当予想（中間配当７円 50 銭、期末配当７円 50 銭、年間配当 15 円 00 銭）に変更はありません。

（注）上記の予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以　上